

# 胃がん検診を

検査説明用紙

## これから受ける方・受けた方へ

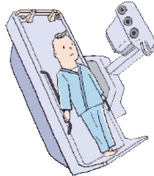
胃がんは50歳代以降にかかる人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置します。検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。2年に1度、定期的に受診しましょう。

●検診方法は2種類。**胃部エックス線検査**または**胃内視鏡検査(胃カメラ)**のどちらかを選んで受診します。

### 胃部エックス線検査 (対象年齢：40歳以上)

発泡剤(胃を膨らませる薬)とバリウムを飲み、胃部エックス線で胃の粘膜を観察する検査。

※要精密検査となった場合、胃内視鏡検査が必要です。

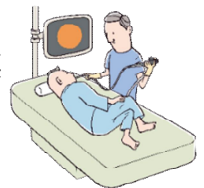


### 胃内視鏡検査(胃カメラ) (対象年齢：50歳以上)

口または鼻から内視鏡を挿入し胃内部の粘膜を観察する検査です。

検査で医師が必要と判断した場合、そのまま精密検査として生検(胃粘膜組織の採取)を行うこともあります。

※生検は医療保険で実施するため、別途自己負担金が生じます



### ●判定結果の見方

判定結果	検診後にすること	
胃部エックス線検査 胃内視鏡検査 共通	「現在のところ異常ありません」 「軽度の所見を認めますが、今のところ問題ありません」	今後も定期的に検診を受けましょう。 自覚症状がある場合は検診を待たずに専門医療機関を受診しましょう。
	「要観察」	経過観察が必要な所見を認めます。 医師の指示にしたがって、医療機関を受診し経過をみていきましょう。
胃部エックス線検査で「要精密検査」	精密検査を受診しましょう。	
胃内視鏡検査での生検の結果、「異常なし」	異常がなくても定期的な検査を受けましょう。	
胃内視鏡検査での生検の結果、「異常あり」	詳しい検査が必要なので、医療機関を受診しましょう。	
胃内視鏡検査で「要治療」	医療機関で治療を受けましょう。	

#### 《ご確認ください》

- 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
  - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合(偽陽性)や、がんがあるのに見つかることができない場合(偽陰性)があります。
  - ・検査によって、出血や穿孔(胃に穴が開くこと)が起こることがあります。
- 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。